

南三陸町病院事業改革プラン（令和2年度実績検証）

地域医療構想を踏まえた役割の明確化における数値目標と実績

医療機能・医療品質に係るもの	令和元年度 (実績)	令和2年度 (目標)	令和2年度 (実績)
1日当たり平均入院患者数(人)	79.3	86.0	76.3
1日当たり平均外来患者数(人)	205.5	215.0	184.2
手術件数(件)	18	100	30
卒後臨床研修医受入数(人)	19	14	18

平均患者数は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響により、入院・外来患者数が目標値・前年度実績ともに下回りました。手術件数は医師の異動等により目標値を下回りました。また、卒後臨床研修医受入数においては、地域保健医療の研修が必修科目となり目標値を上回りました。

経営の効率化における数値目標と実績

(単位：百万円)

項目		令和元年度 (実績)	令和2年度 (目標)	令和2年度 (実績)
収支改善	医業収益	1,341	1,452	1,320
	医業費用	1,872	1,836	1,886
	経常収益	1,855	1,917	2,045
	経常費用	2,002	1,976	2,023
	経常損益	▲147	▲60	22
	純損益	▲147	▲60	22
経費削減	材料費の対医業 収益比率(%)	13.3	12.1	14.2
収入確保	病床利用率(%)	88.1	97.8	84.8
	透析患者数(人)	5,150	3,600	5,528
経営安定性	医師数(人)	6	10	6
	看護職員数(人)	67	70	65
	職員数(常勤)	118	115	116

医業収益(料金収入等)は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響による入院・外来収益の減少等により減収となりました。また、医業費用では、給与費・材料費等の増加により前年度を上回りました。結果として経常収益から経常費用を差し引いた純損益は、新型コロナウイルス感染症に対する負担金・補助金等の医業外収益が増加したことにより、22百万円の純利益となりました。

職員数は、医師のほか看護師など、前年度同程度で運営をしています。

今後も医療圏内の急性期病院や介護施設等と連携しながら効果的な病床利用を図っていくとともに、透析の診療体制の充実に努めてまいります。また、持続的な健全運営を図るため、効率的運営による費用削減を継続していきます。

○南三陸町病院事業改革プランとは

住民にとって安全安心な地域医療を持続的に提供していけるよう定めた病院の基本的な運営方針です。南三陸町第2次総合計画や県による地域医療構想等を踏まえ、病院が担うべき役割の明確化や効率等について、具体的な数値目標と取組内容を定めています。平成28年度から令和2年度を対象期間として、毎年、検証結果を公表しています。※詳細については、南三陸病院ホームページに掲載しています。

問合せ 南三陸病院事務部 電話 0226-46-3646